

としょかん 図書館だより

だいごう
第5号 2021.10.13
ももだにこうこう としょかん
桃谷高校 図書館

あき かぜ どくしょ あいず 秋の風は読書の合図

どくしょじゅうかん 読書週間がはじまります

がんばった期末テストから二か月、ついに後期の授業が始まりましたね。季節も秋になり、過ごしやすい気候になりました。さて、秋と言えば、よく聞くのが「～の秋」という言葉。運動・芸術を始め、色々な秋をこれまでみなさん一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。

「読書の秋」もその中の一つです。涼しく、ゆとりのあるこの季節に、是非読書の時間を、持ってみませんか。日本では毎年秋になると、そんな時間をみんなで分かち合おうと、全国で「読書週間」が始まります。今年は、

さいご ページ と ちが わたし 「最後の頁を閉じた 違う私がいいた」

が標語になっています。この言葉には様々な解釈が可能だと思えますが、例えば「読み終わった後、しばらく余韻で本の世界から帰ってこれない」ような体験を読書でしてみると考えることもできますね。本は、時にはあなたの考え方に影響を与えたり、色々な人の人生に触れて、価値観を変化させるような力を持っています。この秋、そんな世界への一歩を、一緒に踏み出してみませんか。今回は、図書館にある本の中から二冊、あなたへのお勧めを紹介しましょう。



52 ヘルツのクジラたち

こんげつ しんかん 今月の新刊

まちだ そのこ

「ひとというのは最初こそ
貰う側やけど、
いずれは与える側にならないかん」



他のクジラが聞き取れない声で鳴く、世界で最も孤独なクジラ。物語は、孤独で救いの無い状況を生きてきた女性と、今を孤独に生きる少年を軸に展開します。孤独の中に救いはあるのか。誰にも届かない叫びに応える人はいるのか。最後まで読んで、確かめてください。

げきじょう 劇場

またよしな おき
又吉直樹

「一番会いたい人に会いに行く
こんな当たり前なのが、
なんでできへんかったんやろな」

主人公は、演劇に人生をかけ、高校卒業後に上京した青年です。プライドが高く、自信家の主人公とその彼女が織りなす物語は、切なくも胸に迫るものとなっています。純文学とだけあり、少し読みにくい文体ですが、じっくりと一人の人生を味わいたい人におすすめです。



最後の頁を閉じたその時、心揺さぶられる2冊を紹介しました。

みなさんにも、そんな1冊があれば、是非図書館に来て、先生たちに教えてください！

こんげつ しんかん
今月の新刊 Pickup

図書館では、半年に1回のペースで新しい本が入荷します。今回は、定時制（夜間）の先生たちがチョイスしたお勧めの本がたくさん入りました！興味のある本があれば、是非ともその先生のところまで話を聞きに行ってみたり、図書館で実際に手に取って読んでみてください。

あと少し、もう少し 瀬尾まいこ

土井先生のおすすめ

それぞれに個性の違う、バラバラな中学生6人がタスキをつないで駅伝に臨む物語です。6人それぞれが胸のうちにつらさや葛藤を抱えながら、それでも走り続けます。走りながら、もがきながら、答えを探して前へ進む姿にグッとくるはずです！



そうだ、葉っぱを売ろう！ 横石知二

吉川先生のおすすめ

ふたりひとりが65歳以上の超過疎地域、徳島県上勝町の住民が一人の地域おこし隊の若者によって、単なる「葉っぱ」からビッグビジネスに成功するという実話。町が活性化すると同時に高齢者の方々も若々しくなっていく。人生で大切な事とは何か。みなさんが学べる一冊です。



ほかにもこんな本がありますよ！

- ① 『推し、燃ゆ』 山本先生 おすすめ
 著者：宇佐美りん
 ジャンル：小説
- ② 『ぼくは挑戦人』 李貞榮先生 おすすめ
 著者：ちゃんへん
 ジャンル：エッセイ
- ③ 『なぜ僕らは働くのか』 田中祐史先生 おすすめ
 著者：池上彰
 ジャンル：自己啓発
- ④ 『JR上野駅公園口』 せいと 生徒からのリクエスト
 著者：柳美里
 ジャンル：小説

連載：今日の読書クイズ

ひろいうみのどこかに、さかなのきょうだいたちが、たのしくくらしてた。
 みんなあかいのに、いっぴきだけはからすがいよりもまっくろ。
 でもおよぐのはだれよりもはやかった。

さて、この子の名前は何？ 小さな魚の群れのお話です。

答えは下部に



聞かせてください！あなたの声！

図書館だよりでは、新しい本や、おすすめの本の情報を載せていきたいと考えています。手書きの場合は下を切り取って、ネットの場合は右のQRコードから、あなたの声を聞かせてください。



.....✕ 切り取り線

本の名前	
著者名	出版社名
おすすめポイント	